

Rowing Power Boat & Rowing Boat

ぶれない走りに機走可、タフ仕様と
強力布陣のローボートシリーズ



手漕ぎでも左右にぶれず、スムーズな走航が自慢のジョイクラフトのローボート。
これからは小さなトランサムボードが備わり、エンジンが付けられるローイングパワーボートがニュースタンダードとなります。
ユーザーに手漕ぎという手間をかけず、優しく苦労いらずのボートに変化し、「いつかはエンジン」の夢も実現可能に。
また、ランチングホイールもエンジンと一緒に付けられる幅のトランサムボードを備えたモデルも新たに加わり、これまで以上に多彩な楽しみ方でお使いいただけます。



ジョイクラフトのローボートは他社を圧倒する高機能が満載!



ココが違う! ①

エンジン取り付け可能

ジョイクラフトのローイングパワーボート & ローボートはすべてエンジンを付けて走航できます。マジックマグとKEM、そしてTRMは、小さなトランサムボードがボート本体にしっかり固定されています。エンジンだけでなく、魚探センサーや竿受けなども取り付けられます。



トランサムボードが付いていないローボートもモーターマウントを装着することで、エンジンが使用可能になります。もちろん艀装アイテムも取り付け可能です。



ココが違う! ②

速く楽に漕げるデザイン

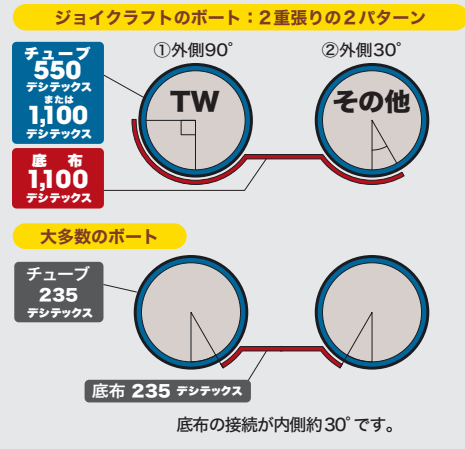
ジョイクラフトのローボートを旧来のモデルと比べるとそのフォルムの違いは歴然です。スマートなバウデザインと長い水線長により速く楽に漕ぐことができ、長距離移動も楽々こなせます。また、前後のリフティングハンドルやオールストッパー、ロッドホルダーなど、機動性や安全性を高める装備も充実しています。



ココが違う! ③

2重張りでボートカバーいらず

チューブと底布の張り合わせ部分が広いことが特長。2重張りで強化した船体は、タフな環境下でもボートカバーを必要としません。



ココが違う! ④

高性能フロアシステム

①高圧エアフロア
ジョイクラフトの主力。板底に比べてはるかに軽量で、継ぎ目がなくぐにやぐに曲がらずに、快適な乗り心地とハイスピード走航を実現します。万一チューブの1気室の空気が抜けても、エアフロアの浮力で高い安全性が確保できます。

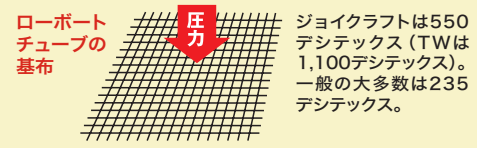
②ジョイクラフトの板底
頑丈な7ミリ合板を用いた4枚全面板底。ジョイント部は全幅接続され、左右のねじれが生じず快適です。



ココが違う! ⑤

強靱基布のタフネス構造

ジョイクラフトボートのチューブは550デシテックス (TWは1,100デシテックス)。底布は全シリーズ1,100デシテックス。チューブ、底布とも235デシテックスという大多数のボートに比べ、はるかに強靱です。特にKEMとKEシリーズは550デシテックス「40×40本」と織り密度が高く、圧倒的な強度を誇ります。



ココが違う! ⑥

直進性を高めるダイナキール

高さ7cm、長さ35cmのダイナキール付き。左右にぶれずにまっすぐ走ります。進路が安定するため、目的地までロスなくたどり着けます。オプションのダイナキールホイールを装着すれば陸上での運搬も楽々行えます。

